

講座スケジュール

- 9:30 ～ 受付開始
9:55 ～ 事務連絡
10:00 ～ 主催者挨拶・講師紹介
10:05 ～ パーソン・センタード・ケアと DCM (認知症ケアマッピング)、その効果とは？
～現場の実践に活かすために
講師:村田康子氏(NPO 法人その人を中心とした認知症ケアを考える会理事長)
12:30 ～ 昼食
13:30 ～ 認知症の疾患別の特性を理解し、パーソン・センタード・ケアの視点からケアを考える
講師:松永美根子氏 (介護老人保健施設孔子の里副施設長)
16:30 終了

【パーソン・センタード・ケアとは】

1990 年代前半に故トム・キットウッド氏が提唱した、認知症であってもその人の個性や人生を重んじ、尊厳を尊重するケアの理念です。当時の英国では、ケアの提供者側の一方的なスケジュール管理や画一的なプログラムの提供などが、認知症ケアの現場ではおこなわれていました（オールドカルチャー）。彼はそのことが認知症の人を混乱させ、症状や状況を増悪させていることに気づき、新しい認知症のケア（ニューカルチャー）を研修システムとして作り上げていきました。この研修システムはブラッドフォード大学認知症研究グループに引き継がれ、研究者や実践者の意見を取り入れながら現在も改訂を重ね続けており、2004 年以降、BPSD の軽減、向精神薬の減少、スタッフの離職率等へのパーソン・センタード・ケアと DCM の優位性が検証されています。

講師紹介



村田康子（むらた・やすこ）

作業療法士。筑波大学大学院教育研究科リハビリテーションコース修了。英国ブラッドフォード大学認知症ケアマッピング (DCM) 認定講師。現在、NPO その人を中心とした認知症ケアを考える会（東京）理事長、認知症介護研究・研修大府センター（愛知）DCM 推進マネジャー、DCM 東日本交流会世話人。

ケア現場で DCM の実践や支援に関わりながら、パーソン・センタード・ケアおよび DCM についての研究会活動、研修、翻訳等を行う。

共訳：ブルッカー「VIPS ですすめるパーソン・センタード・ケア」

共編：DCM を用いたパーソン・センタード・ケア実践報告集第 2 集



松永美根子（まつなが・みねこ）

看護師。介護老人保健施設 孔子の里（熊本）副施設長、小規模多機能ホームひごっ家 施設長。DCM 上級ユーザー、J-P-D ネット（日本パーソン・センタード・ケア DCM ネットワーク）九州・沖縄ブロック代表世話人。

認知症ケア上級専門士・熊本県認知症ケア専門士会会長。

熊本県認知症介護指導者・熊本県認知症介護指導者会会長。

パーソン・センタード・ケアについて学ぶ 1日集中講座申込

以下に必要事項をご記入の上、鏡文無しで

Fax：098-943-5715 か、e-mail：siminkaigo@gmail.com でお申込みください。

振込予定日： _____ 月 _____ 日

※ 申込後は出来るだけ速やかに、振り込み下さいますようお願い申し上げます。入金確認をもって受講決定の御連絡をいたします。入金が確認できないまま定員に達した場合は、受講できなくなりますので、ご注意ください。

※ 複数で申込まれる場合は、全員の名前か、もしくは、他〇名とご記入ください。

(例) 「仲間由紀江、夏川りみ」、「安室なみえ他 3名」

申込書

<複数でお申込みの場合>

事業所名 _____

担当者名 _____

tel _____ fax _____

e-mail _____

氏 名	
①	(賛助会員 ・ 一般)
②	(賛助会員 ・ 一般)
③	(賛助会員 ・ 一般)

<個人でお申込みの場合>

氏名 _____ (賛助会員 ・ 一般)

Tel (携帯) _____ fax _____

e-mail _____